

事務事業評価シート

評価対象年度 平成 19 年度

【事務事業の基本的事項】

事務事業名	生保内節盆踊り開催費補助金				
担当課係名	田沢湖公民館 課	館長 係	作成者	黒沢文喜	
総合計画での位置づけ	施策の大綱	明日を担う人材を育む教育文化のまち			総合計画のページ 100
	基本計画	芸術文化活動の振興と文化財の保護			
	主要施策	文化財の保護と後継者の育成			
予算費目	一般 会計	10 款 教育費	5 項 社会教育費	2 目 公民館費	
事業期間	平成 年度 ~ 平成 年度	新規 / 継続の区分			
性質区分	<input type="checkbox"/> 市民サービス <input type="checkbox"/> 公共事業 <input type="checkbox"/> 施設維持管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 内部管理				
根拠法令等					
事務区分	<input type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務				
運営方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 直営(一部民間委託) <input type="checkbox"/> 民間委託(全部) <input checked="" type="checkbox"/> 補助				

【事務事業の実施内容】

事業の対象 (誰のため・何を)	市民
事業の目的・意図 (どういう状態にしたいのか)	<ul style="list-style-type: none"> ・盆踊りをお盆の行事として市民が楽しめるよう継承する。 ・市の文化遺産である「生保内節」の手踊りの継承、保存する。
事業の内容 (どのような業務、活動を行うのか)	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年、8月20日に盆踊りを開催する。 ・平成19年度は8/19(日)に田沢湖駅前広場で開催した。

【事務事業の推移】

(単位：千円)

		項目	単位	18年度実績	19年度実績	年度実績	
効果	活動指標	開催及び準備日数	日	20	20		
	成果指標	踊り参加者数	人	300	400		
投下コスト	項目		総事業費	18年度決算額	19年度決算額	年度決算額	
	事業費(人件費を除く)(A)			300	300		
	財源内訳	国庫支出金					
		県支出金					
		地方債					
		その他					
		一般財源			300	300	
	人件費(B)			628	646		
	職員数			0.1	0.1		
	職員平均人件費			7,853	8,071		
(A) + (B) 投下コスト			928	946			
単位コスト	活動指標1単位当たりコスト(円)			46,400	47,300		
	市民1人当たりのコスト(円)			29	30		

【事務事業の今までの成果】

・仙北市内では、この盆踊りだけが盆行事として開催されており、生保内節の踊りの継承にも役だっている。

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	・地域の盆踊りはどこの自治体でも減少している。
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	・子供達にもっと参加してほしい。 ・市役所職員がもっと地域の行事に参加してほしい。

【一次評価】

判定	事業の方向性	判定に至った理由
A	A 現状のまま継続(実施)	実行委員会の各団体がどうにかして盆踊りを残したいと考えて頑張っていますので現状のまま継続。 (実行委員会の組織を変えながら)
	B 見直しの上で継続(実施)	
	C 大幅な見直しの上で継続(実施)	
	D 休止・廃止(統合を含む)を検討する事業	

一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容(改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。)

【二次評価】

判定	判定に至った理由
A	運営方法などに検討の余地があるが、引き続き地域の活性化に寄与する必要な事業と考える。

